

【津和野町】 1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

津和野町 GIGA スクール構想を策定し以下の2点の目的を掲げている。

- ①ICT を効果的に活用した学びを通して、「対話する力」「行動する力」「課題を見抜く力」を高め、大人になっても、「自ら」学び続けるひとの育成
- ②子どもたちを誰一人取り残す事のない、個別最適化された学びや創造性を育む学びの実現

上記目的を実現するため、学習環境整備、授業での活用、家庭学習における活用、教員の指導力向上、子どもの適切な ICT 活用に対する家庭の理解等、家庭・学校・町と連携し、児童生徒にとって適切な ICT 環境整備を図る。

2. GIGA 第1期の総括

本町では、児童生徒の1人1台端末の整備を完了したが、学校間で端末の活用頻度、活用方法等差が生じている状況であった。

令和5年度より、町内全学校共通の指針となる津和野町 GIGA スクール構想策定に向けた協議を行い、令和6年4月から町内全学校が津和野町 GIGA スクール構想をもとに取り組みを進めている。

授業以外でも健康観察や委員会活動に端末を活用するなど端末の利用が進んでいる。

学校間での情報共有や町内全学校共通した取り組みを決定する場を設けることが重要であると認識したところであり、今後も継続して協議の場を設けることで、効果的な取り組みに繋がると考える。

ICT 環境面では、機器の故障、破損、安定したネットワーク環境の整備への対応が必要であり、今後の課題となっている。

3. 1人1台端末の利活用方策

今後も、児童生徒の1人1台端末の有効活用を推進し、「主体的・対話的で深い学び」を進めるとともに、津和野町 GIGA スクール構想の目的の実現に向けた取り組みを進める。

町は継続して ICT 支援員を配置し、教職員を対象とした指導力向上の研修、教職員・保護者・児童生徒を対象とした情報リテラシー研修を行うなど、適切な ICT 活用に向けた取り組みを推進する。

また、デジタルドリルなど学校、家庭での学習に取り入れることができる環境整備を図り、児童生徒が端末を活用しながら、自身の特性や学習理解度に合った学習に取り組める環境の整備を目指す。